

令和5年度 第2回 南陽中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月28日（火） 13時15分から15時15分まで
- 2 開催場所 南陽中学校 会議室
- 3 出席委員 池野 滋久、増田 亜美、増田 哲也、加藤 裕之、鈴木 和枝、赤星 順子
- 4 欠席委員 水野 真宏（学校支援コーディネーター兼務）
- 5 オブザーバー 古橋 一哲（南陽協働センター）
- 6 学 校 大城 定則（校長）、高塚 陽子（教頭）、松山 隆是（CS担当教諭）、三高 奈緒子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 清水 悠（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 三高 奈緒子
- 12 議長の選出
鈴木委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

13 協議事項

- （1） 校則の見直しについて
- （2） 部活動の地域移行にむけての取り組みについて
- （3） 次年度の学校経営に向けて

14 会議記録

司会の高塚から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1） 校則の見直しについて

議長の指示により、校長から、校則の見直しについて説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 今日授業参観した時は生徒の髪型について特に変わった様子はなかった。下駄箱の靴はしっかり整頓されていた。まだ白い靴が多いですが、黒い靴がところどころあり、これから増えていくのでは（加藤委員）
- ・ 校則改定のお便りは配布されましたか？（増田亜美委員）
→さくら連絡網や学校便りでお知らせしました。（教頭）
- ・ 保護者は改定内容を詳しく知らない方が多いと思う。ぜひ一度お便りで改定内容を知らせてもらえると保護者は助かる。靴下など次の買い換えでぜひ黒靴下にしたい。（増田亜美委員）
- ・ 受験の時は、黒い靴、黒い靴下を履いていっても大丈夫でしょうか？（赤星委員）

→大丈夫だと思います。(校長)

- ・ 校則改定を知らせるお便りに、受験の時も大丈夫だと一言加えていただくと安心です。(赤星委員)
- ・ 高校では体育の授業の時は白い靴下にするように制限がある。黒い靴下だと出血がわからないためだそうです。(増田亜美委員)
- ・ 生徒達が決めてそれをルールにして秩序が守られるのは素晴らしいことだ。(増田哲也委員)
- ・ 校則の改訂を通じて子ども達も話し合いにより成長している。(鈴木委員)

(2) 部活動の地域移行に向けての取り組みについて

議長の指示により、校長から、部活動の地域移行に向けての取り組みについて説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 部活動に外部の指導者はいますか？(鈴木委員)
→水泳部、バスケット部に部活動指導員、テニス部、バレー部に外部コーチが来ている。(校長)
- ・ 部活動の地域移行とは、部活を学校と別にして地域に移すことを目指すのか？(加藤委員) →最終的には地域に移す(校長)
- ・ 地域で部活動の指導者候補を探すことが一番の課題。浜松市では令和8年8月から土日は地域へ移行する。地域にどのような種目で指導できる方がいるか情報を教えて欲しい。(校長)
- ・ 部活に入るか、外部のクラブチームに入るか悩む。行く中学の部活動がどうなるか、いつまでであるのか、わからない。中体連にクラブチームが出場できるか等、情報が二転三転するので選択に悩む。(増田亜美委員)
- ・ 今は部活動に入っている子はどのくらいいますか？(加藤委員)
→8割以上の生徒が入っている。入っていない子も外部のクラブなどに入っている子が多い。外部のクラブだと保護者に送迎の負担がある。(校長)
- ・ 中学校に入学してから部活動を実際に見て選ぼうと思っている。部活動が学校から切り離されると選ぶ場がないので、子ども達に選択肢をわかるようにして欲しい。(赤星委員)
- ・ 部活動で子どもに体力がついたり自分の事をできるようになったり成長をしていると感じる。入学説明会でも部活について質問が出るのでは。(増田亜美委員)
- ・ 部活動が減ることで、子どもに非行やトラブルが増えないか？南陽中では非行などないか？(池野委員)
→タバコや万引きなどの非行はない。最近ではスマホやゲーム、SNS トラブルの生徒指導が増えている。(校長)

(3) 次年度の学校経営に向けて

議長の指示により、校長から、次年度の学校経営に向けて説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 文化発表会や体育大会などの行事では子ども達の力はすごかった。日常生活において

ももっと力を発揮して欲しい。帰りの会が10分と短く先生が話をする時間がない。心の成長をもっと考えていけば、子ども達の学習、コミュニケーション能力がアップするのでは。帰りの会を5分延長し担任から毎日語りかけできるともっといい学校になるのでは。(校長)

- ・ 帰りの会は大事である。担任から話す時間があれば子ども達が落ち着いて過ごすことができる。(加藤委員)
- ・ 今日の授業参観でも、先生の表情や目線、声のトーンや張り等を見て、教室の盛り上がりを判断した。担任の想いを生徒に伝える時間があると良い。(増田哲也委員)
- ・ 職場体験はコロナの状況で実施が心配されたが無事行われた。遠い場所に体験に行く生徒もいたので、近場で体験先を探せないかと考えている。来年度開拓したい。(水野委員※欠席のため教頭が代理で文書を代読)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和6年2月22日(木)午後1時30分から会議室で開催する旨の報告があった。